

農業



令和元年9月号
会誌 No. 1655

目次

巻頭言

農業生産現場への MOT 概念の導入……………雨宮 宏司 3

論 壇

歴史に学ぶ……………生源寺真一 4

大豆単収向上研究会

第1回大豆単収の向上に関する研究会…………… 6

－大豆をめぐる事情と多収阻害要因の解析－

研究会のねらい…………… 6

話題提供

大豆をめぐる事情……………大西麻紀子 6

近年の水田地力低下問題から

大豆多収阻害要因プロジェクトへ……………新良 力也 10

意見交換…………… 19

農事功績者座談会

大都市に所在する大規模な養豚・稲作等複合経営（個人・法人）…………… 26

家族で支える養豚複合経営と地域振興……………北見 信幸 26

北見満智子

現地指導者のコメント……………相内 幹浩 35

意見交換…………… 36

研究の最前線

緑の葉身もおいしい短葉性ネギ……………山田 朋宏 48

農業・農村の現場から

いいたて流「農」の再生と「までいライフ」……………菅野 典雄 55

－福島県飯舘村 までいの村に陽はまた昇る－

世界の農業は今

タイ、マレーシア、そしてベトナムの食品製造業……………樋口 倫生 61

－中国との貿易に焦点を当てて－

私の経営と志

挑戦するものにだけチャンスがある……………長野 洋平 66

統計情報

平成30年産サトウキビの収穫面積及び収穫量…………… 68

農政情報

大日本農会だより…………… 70

ミニ情報

令和元年産一番茶の府県別荒茶生産量（主産県）…………… 47

令和元年産一番茶の摘採面積，生葉収穫量及び荒茶生産量（主産県）… 60

表紙写真説明

和歌山県に唯一無二の棚田（和歌山県有田川町^{ありだがわちょう}）

有田川町清水地区（阪和自動車道の有田インターから約30km）にある「あらぎ島」は、蛇行する有田川に沿った希有な棚田の光景で知られ、「日本の棚田百選」にも選ばれたほか、「蘭島（あらぎ島）及び三田・清水の農山村景観」として、国の重要文化的景観にも選定されています。

江戸時代、「あらぎ島」付近を新田開発したのが、笠松左太夫という大庄屋です。左太夫は、早くに父を失い、苦しい生活を余儀なくされながらも、用水を通し、新田を拓き、地域の増産に大きく貢献しました。現在も、地域の皆さんが、田植え体験、稲刈り体験、有志によるキャンドルイベントの催しなどを行いながら、この棚田を守っています。

9月初め、「あらぎ島」は、その美しい形状の上に、豊かな稲穂を揺らしながら、稲刈りを待っています。あらぎ島の風景は、四季折々に美しく変わり、有田川の対岸に設けられた展望所から眺望できます。付近には、左太夫ゆかりの古民家を改修した一軒貸しの宿「笠松亭」や紙すき体験ができる「体験交流工房わらし」、カフェレストランなどの見所も多くあります。

ぜひ一度、足を運ばれてはいかがでしょうか。（写真と文：近畿農政局企画調整室提供）